

あつぎ郷土博物館年報 7

ANNUAL REPORT OF ATSUGI CITY MUSEUM



令和7年(2025)5月

● 目 次 ●

1 沿 革	3
2 施設概要	4
3 平面図	5
4 基本展示	6
5 企画展示	
(1) 特別展示	7
(2) 企画展示	8
(3) 展示会関連講座	10
(4) その他展示関連	12
6 普及啓発活動	
(1) 定期講座	13
(2) 施設見学	15
(3) 出前展示・講座	17
(4) レファレンス業務	18
(5) 学芸員実習・職場体験学習等	19
7 刊行物	
(1) 展示会図録等.....	20
(2) 博物館NEWS等.....	21
8 古民家岸邸	
(1) 展示	26
(2) 講座	27
(3) 解説	27
9 資料の収集・保管・活用	
(1) 資料の収集状況	28
(2) 資料の保管状況	29
(3) 資料の館外貸出等	30
10 組織及び職員	
(1) 組 織	32
(2) 博物館協議会	32
11 施 設	
(1) あつぎ郷土博物館	33
(2) 古民家岸邸	34
12 入館者数	35

1 沿 革

あつぎ郷土博物館の建設から開館までの経緯は、おおむね次のとおり。

(仮称)郷土資料館として、平成29年度より本格的な建設準備に着手し、平成31年1月27日に開館。正式名称を「厚木市立あつぎ郷土博物館」と改めた。

平成20年6月 文化財課(当時)が市民公園(下川入)整備構想担当課に決定

平成27年3月1～30日 基本方針(案)に対するパブリックコメント実施

平成28年4月1日 (仮称)あつぎ郷土資料館検討委員会を設置

平成29年3月 (仮称)あつぎ郷土資料館建設実施設計、展示設計を実施、完了

平成29年10月 建築着工

平成30年9月 駐車場等外構工事着手、埋蔵文化財収蔵庫建築工事着工

平成30年10月31日 (仮称)あつぎ郷土博物館竣工

平成30年11月～ 展示工事着手

平成31年1月18日 展示工事完成

平成31年1月27日 あつぎ郷土博物館開館

あつぎ郷土博物館条例が施行される。

平成31年3月24日 来館者1万人達成

令和2年2月22日 文化財保護課Facebook運用開始

令和2年6月28日 来館者5万人達成

令和2年11月16日から令和3年1月22日まで

新型コロナウイルス感染防止対策に伴う空調改修工事

令和4年10月16日 来館者10万人達成

令和6年1月28日 開館5周年記念事業実施

令和6年9月5日 来館者15万人達成

※新型コロナウイルス感染防止対策のため休館

令和2年3月3日から5月26日まで

令和3年1月12日から3月21日まで

令和3年4月24日から8月6日まで イベント中止

令和3年8月7日から9月30日まで

令和4年1月21日から3月6日まで イベント中止

2 施設概要

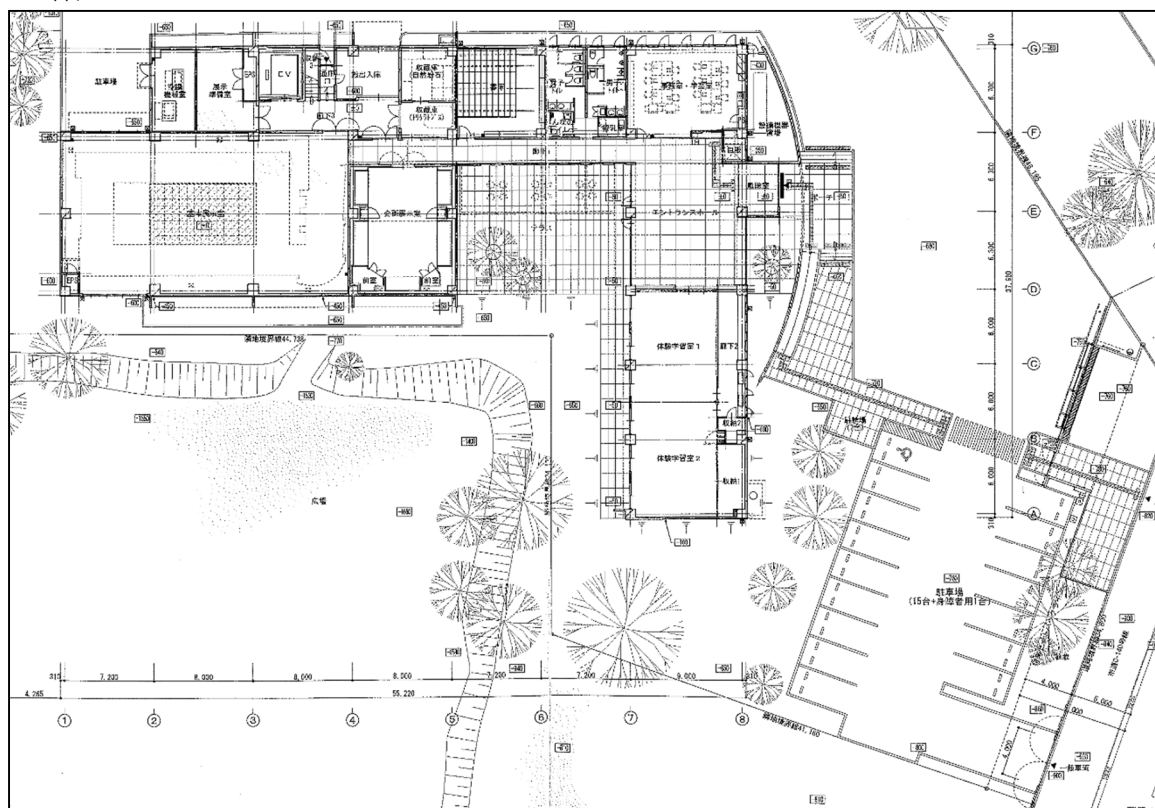
所在地 神奈川県厚木市下川入1366番地 4
敷地面積 10,025m²
建築面積 1,590.10m²
延床面積 1階 1,092.59m²、2階 497.51m²
構造 鉄筋コンクリート造 2階建
工期 着工 平成29年10月
完成 平成30年10月
開館 平成31年 1月27日

工事関係者一覧

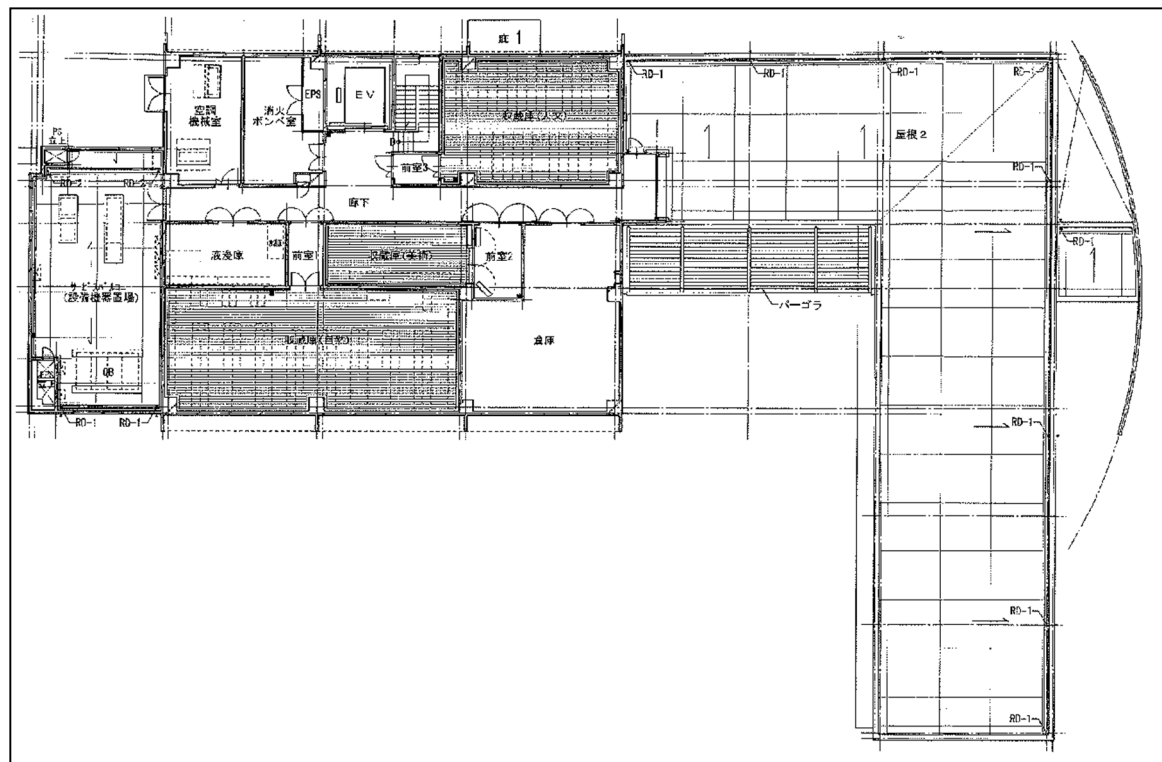
建築設計・管理	株式会社 小林建築事務所
展示設計・管理	株式会社 丹青社
建築工事	山王・安藤特別共同企業体
外構工事	山王・安藤特別共同企業体
展示工事	株式会社 丹青社

3 平面図

・ 1 階



・ 2 階



4 基本展示

「基本展示」は、地学・考古・歴史・民俗・自然の5つの分野で構成し、各分野でさらに項目、細項目をたて、郷土あつぎを理解できるような展示としている。実物資料を中心とする興味深い資料を展示し、具体的なデータはパネル等で説明している。

また、基本展示内の「融合展示」は開館以来、木・火・土・金・水をテーマに展示内容を更新していたが、令和6年度は、テーマを「浮世絵」とし博物館の所蔵している浮世絵を1箇月に2回展示替えをし展示した。ただし、2月・3月は企画展と連動し加藤コレクションを展示した。

- (1) 展示面積 304.15㎡
- (2) 展示資料数 817点(うち融合展示227点)
- (3) 基本展示テーマ、資料点数内訳

分 野	地 学	考 古	歴 史	民 俗	自 然	合 計
基本展示 テーマ	あつぎの風 土を望む	あつぎの大 地から	あつぎの原 風景を訪ね て	あつぎの人、 くらしに出 会う	あつぎの環境 と生きものを 探る	
基本展示 資料点数	11	157	203	106	113	590

- (4) 融合展示テーマ

あつぎ郷土博物館が所蔵している浮世絵資料の中から選りすぐりの銘品を、1年間を通してテーマを設け展示し、多くの方々が歴史、文化、美術に対して興味関心を抱くきっかけとなるよう開催した。

	展示月	テーマ	資料点数
1	4月前半	役者絵①坂東彦三郎	1 2
2	4月後半	江ノ島詣で	5
3	5月前半	末広五十三次①	8
4	5月後半	富士三十六景①	1 8
5	6月前半	横浜絵	5
6	6月後半	東海名所改正五十三駅①	4
7	7月前半	大山詣り	1 0
8	7月後半	花火①	7
9	8月前半	花火②	7
10	8月後半	夕涼み	6
11	9月前半	富士三十六景②	1 8
12	9月後半	観音霊験記①	1 8
13	10月前半	役者絵②舞台上の偉人	1 2

14	10月後半	観音霊験記②	1 8
15	11月前半	江戸の生活・風俗	1 2
16	11月後半	東海名所改正五十三駅②	4
17	12月前半	観音霊験記③	1 8
18	12月後半	浮世絵の明治維新	5
19	1月前半	江戸の信仰	6
20	1月後半	末広五十三次②	8
21	2月/ 3月	描かれた明かりの道具 (加藤コレクション)	2 6
合計			227

5 企画展示

(1) 特別展示

ドグウ集まれ！

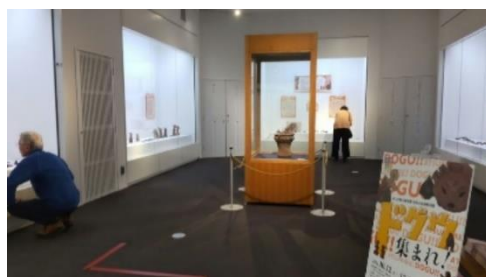
期 間 10月12日～12月8日

開催日数 56日

入場者数 特別展示単独のカウントはしていないが、期間中の
博物館入館者数は7,808人（1日平均 約139人）

厚木市内には縄文時代の遺跡が数多くありながらも、その出土例が非常に稀な土偶。土偶の実像に迫るとともに豊かな縄文文化を様々な視点から理解できるよう、市内では珍しい土偶や関連資料を県内外から借用し、一堂に集め展示した。

※ 展示資料数 119点（重要文化財49点を含む）



(2) 企画展示

あつぎ郷土博物館では令和6年度、以下の企画展示を開催した。

	タイトル	期間／日数	入館者数 (1日平均)
1	地域再発見！3 睦合地域-田園・水車・トウキョウダルマガエル-	令和6年3月23日～6月23日／81日間（89日間※1）	6,777(84) 7,390(83)※1
2	夢虫になる夏が来る！	令和6年7月20日～9月16日／58日間	5,331(92)
3	あかりの道具ー火と光、人の文化史ー	令和6年1月18日～3月2日／42日間	4,044(96)
4	地域再発見！4 萩野地域ー光善院・あかとんぼ・ガラス工芸-	令和7年3月29日～6月22日／2日（83日間※2）	197(99)

※1の期間及び入館者数は、令和5年度実施分を加えた数字。

※2の期間及び入館者数は、令和7年度実施分を加えた数字。

ア 「地域再発見！3 睦合地域-田園・水車・トウキョウダルマガエル-」

厚木市の地域に焦点を絞り、その地域に由来する特徴的な資料を紹介することで地域の魅力を再発見し、郷土学習を深めることを目的に毎年開催している。地域展の3回目として睦合地域を取り上げた。島村亮作の日本画、難波孫次郎作の彫刻、星野日記や林自治会文書等を展示した。また、この展示から寄贈につながった資料も多くあった。



イ 「夢虫になる夏が来る！」

厚木市内には約7千500種の動植物が生息するが、このうち昆虫は約5千種、全体の約70%を占めており、本市の重要な生物の一群と言える。4つのテーマで構成し、夏休み期間中、市民に広く郷土の優れた自然について学習していただく機会とした。なお、本展示会は、児童生徒を持つ家庭や自然観察の指導者をメインターゲットに想定して開催した。

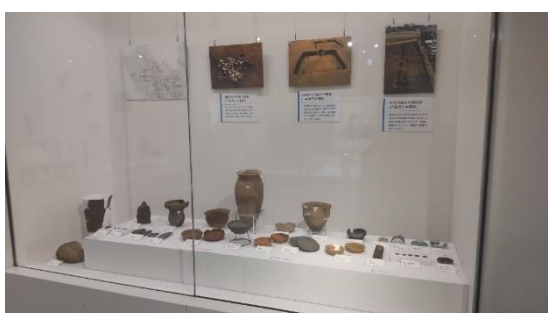
ウ 「あかりの道具 ―火と光、人の文化史―」

松明から、からくり行灯まで、バリエーション豊かな加藤コレクション（加藤芳明氏寄贈、700点）の灯火具によって日本文化史の一面を紹介する展示会を開催。鼠短檠、無尽灯を歴史的に考える講座、実際に火を入れ、明るさを実感できるイベントもあわせて実施した。



エ 「地域再発見！ 4 荻野地域 ―光善院・あかとんぼ・ガラス工芸―」

地域展の4回目として荻野地域を取り上げた。地域を支えた養蚕に関する資料や修験道に関する古文書、故小林貢氏寄託のガラス工芸作品などを展示した。



(3) 展示会関連講座

ア 展示関連講座

特別展・企画展の開催にあたり、見学者の理解を深め、また展示効果を高めるため、展示テーマに関連した講演会・体験学習を企画した。

回	開催日	テーマ	場所	参加者数
1	6月22日	県央地域の近世仏師について 講師：薄井和男氏（元県立歴史博物館長）	体験 学習室	84
2	8月18日	トンボの魅力を語る 講師：尾園 暁氏	体験 学習室	41
3	8月31日	夏休みラストスパート！よるのむし観察で 遊び納め！ 講師：槐 真史（あつぎ郷土博物館学芸員）	体験 学習室	— ※台風10号 のため中止
4	10月19日	土偶入門 講師：佐藤健二（厚木市文化魅力創造課）	体験 学習室	39
5	11月4日	縄文世界の顔身体表現 講師：中村耕作氏（国立歴史民俗博物館）	体験 学習室	72
6	11月9日	ミニ土偶作り体験 講師：神奈川県教育委員会文化遺産課	体験 学習室	30
7	12月1日	ドグウ集まった！ 講師：望月昭秀氏（縄文ZINE編集部）	体験 学習室	48
8	1月18日	灯明皿 古代の在地系灯火具の歴史 講師：富永樹之氏（神奈川埋蔵文化財センター／神 奈川県教育委員会文化遺産課）	体験 学習室	20
9	1月25日	灯火具の文化史 講師：小林 克氏（松蔭大学教授）	体験 学習室	22
10	2月9日	無尽灯-からくり師が作り上げた灯火具の 拡がり- 講師：大谷典久氏（無尽灯研究家・元照明文化 研究会）	体験 学習室	20
11	2月16日	博物館ワークショップ ランプシェードづ くり 講師：山岡 裕子、大塚 真由美 （あつぎ郷土博物館学芸員）	体験 学習室	19
12	2月22日	灯りをともす-鼠短檠、行灯のあかりを体験 する- 講師：加藤芳明氏（写真家協会会員）	体験 学習室	52
合計（12回）				447

イ 展示解説

特別展・企画展の開催にあたり、見学者の理解を深め、また展示効果を高めるため、各展示担当の学芸員による展示解説を実施した。

	実施日	事業名	参加人数	小計 (人)
特別展	10月12日	ドグウ集まれ！	25	92
	11月9日	担当：佐藤 健二	35	
	12月8日	(文化魅力創造課職員)	32	
企画展	7月20日	博物館の周りにすむ虫と遊ぼう 担当：槐 真史 (あつぎ郷土博物館学芸員)	49	79
	8月3日	セミの抜け殻からわかること 担当：槐 真史 (あつぎ郷土博物館学芸員)	26	
	9月14日	いろいろな昆虫標本・見学会 担当：槐 真史 (あつぎ郷土博物館学芸員)	4	
企画展	2月1日	あかりの道具 担当：大野 一郎	24	24
	3月2日	(あつぎ郷土博物館学芸員)	—	
地域展	4月6日	睦合地域展（自然） 担当：槐 真史 (あつぎ郷土博物館学芸員)	2	23
	4月13日	睦合地域展（考古） 担当：佐藤 健二 (文化魅力創造課職員)	17	
	4月20日	睦合地域展（民俗） 担当：大野 一郎 (あつぎ郷土博物館学芸員)	4	
	4月27日	睦合地域展（歴史） 担当：飯田 好人 (あつぎ郷土博物館学芸員)	—	
合計（12回）				218

(4) その他展示関連

ア ^{がくげいいん}「學藝員のススメ」広報連動展示

「広報あつぎ」15日号に「學藝員のススメ」を連載しているが、紹介した資料を基本展示室又は企画展示室に展示した。令和6年度は、春甫（4月）から鐘ヶ嶽出土布目瓦（3月）まで12回掲載をした。

	掲載号	テーマ（紹介資料）	展示（場所）
1	4月15日	春甫	地域展示
2	5月15日	富士三十六景 さがミ川	収蔵品展
3	6月15日	継走	地域展示
4	7月15日	ヤマトタマムシ・ミヤマカラスアゲハ	企画展示
5	8月15日	昆虫ふれあい体験コーナー	企画展示
6	9月15日	観音霊驗記	企画展示
7	10月15日	一の沢遺跡出土土偶	特別展示
8	11月15日	大木戸遺跡出土土偶	特別展示
9	12月15日	鶴の芯押さえ	企画展示
10	1月15日	火打ち箱、携帯用火打ち袋	企画展示
11	2月15日	厚木のランプ屋	企画展示
12	3月15日	鐘ヶ嶽出土布目瓦	触察展示



あつぎ郷土博物館
連動企画

第55回

「學藝員のススメ」

博物館の学芸員が、あれこれを語り倒すコーナー。



画家
「島村亮」の世界
大塚 真由美



「春甫」は5月12日まで展示。
14日からは「秋林」などに展示替えます。

絵は日本画であり、日本古来の国民の感覚、国民性が出るという島村ですが、皆さんの目にはどう映るでしょうか。長く展示のなかった島村作品です。この機会にぜひご覧ください。

妻田村に生まれた島村亮（1901～58年）は、18歳で日本画家山内多門の門に入り画家としての道を歩み始めます。多門没前後は安田靫彦門下となり、洋画研究にも没頭。第一回帝国美術院展（36年）で「春甫」が、次いで「秋林」が文部省美術展覧会で入選を果たします。「春甫」は日本画ながら洋画の技法、点描を用いた作品で、柔らかな筆致で描かれた里山の風景はさながら桃源郷のよう。描法がどうあれ日本人の描く



博物館HPはこちら▲

●あつぎ郷土博物館 ☎225-2515



あつぎ郷土博物館
連動企画

第66回

「學藝員のススメ」

博物館の学芸員が、あれこれを語り倒すコーナー。



博物館で触っちゃおう！
触察展示
大塚 真由美



皆さんは博物館の展示を見ながら「これ触ったらどんな感じかな」と思ったことはありませんか。博物館では資料の保存を優先しているため、触ることは厳禁。見学に訪れる小学生たちにもまずお願いをしているところです。

しかし、基本展示室の中央に新しく設けるコーナーでは、資料に触って鑑賞する「触察」が可能です。厚木の地に生きてきた人々が手にし、生活に寄り添ってきた資料が並び、それらにじかに触れることで、その時代の暮らしや息遣いを「自分ご

と」として身近に感じられるのではないのでしょうか。

写真は「布目瓦」。古代、寺院や役所の屋根にふかれた瓦の表面には、成型する際についた布目の文様が残っています。一枚一枚、粘土をたたき成型した、いにしへの工人たちの手仕事に触れ、心通わせる体験をお楽しみください。



展示会の詳細はこちら

●あつぎ郷土博物館 ☎225-2515

6 普及啓発活動

あつぎ郷土博物館では、調査・研究の成果を活かした普及講座を行なっている。令和6年度は、土日を中心にワークショップを実施した。また、教育普及活動として小学校や公民館への出前講座等を実施した。

(1) 定期講座

ア 古文書講座

事業名	実施日	講座名	場所	参加人数
古文書講座	2月13日(木)	はじめての古文書 講師：飯田 好人（あつぎ郷土博物館学芸員）	体験学習室	18
	2月20日(木)			17
	2月27日(木)			19
	3月6日(木)			17
	3月13日(木)			16
	3月20日(木)			16
	合計（6回）			103

イ ワークショップ

開催日	内容	場所	参加者数
7月28日	うちわづくり	体験学習室	43
8月11日	まが玉づくり		28
8月14日			18
9月29日	プラ板でキーホルダー作り		55
12月15日	浮世絵カレンダーづくり		15
12月22日			36
合計（6回）			195

ウ 国際博物館の日関連事業

- 1 実施日 5月18日
- 2 当日の入館者 201人（ナイトミュージアム参加者20人）
- 3 ナイトミュージアムの実施
内容：開館時間の延長 9時～20時（通常の開館時間は17時まで）
- 4 夜のギャラリートークの実施

内容：「灯りと壁が招く！夜の博物館散歩を楽しむ」

担当：槐 真史（あつぎ郷土博物館学芸員）

「暗闇ミュージアム 灯りを楽しむ」

担当：大野 一郎（あつぎ郷土博物館学芸員）

5 記念品の贈呈

内容：オリジナル缶バッジを贈呈（先着100名）

エ 市制70周年記念イベント等

1 市制70周年記念 周年記念映像映写会

内容：市制10周年及び15周年時に作成された映像の鑑賞会

実施日：2月1日

参加者：24人

2 市制70周年記念 あつぎにゆかりのある偉人70選

内容：古代から近現代に至るあつぎにゆかりのある偉人について、市HP上で紹介する。

オ 共催講座

郷土資料館の頃から、資料整理、調査、普及活動で協働してきた団体との活動を、あつぎ郷土博物館への移転後も継続、実施している。

団体（活動日）	回数	参加人数
古文書解読会（第2、3、4木曜日）	33	580
あつぎひがし座 あつぎ郷土博物館 de 人形浄瑠璃（6月6日）	1	93
厚木歴史講座（10月13日、11月24日）	2	200
合計（36回）		873

(2) 施設見学

あつぎ郷土博物館が収蔵する郷土資料について市民への公開を進めるため、小中学校、公民館、保育所等を中心に受け入れを行っている他、出前展示、講座を実施している。

ア 小学校

市内の小学校3年生に対して博物館の見学マナーや基本展示の解説及び教科に合わせて「昔の暮らし」の解説を中心とした施設見学を行った。

来館日	学校名	人数
11月1日	三田小学校2年生	118
11月15日	南毛利小学校3年生	65
1月10日	妻田小学校3年生	79
1月30日	鳶尾小学校3年生	49
3月3日	依知小学校3年生	56
3月4日	七沢希望の丘小学校3年生	9
合計（6回6校）		376

イ 幼稚園・保育園

来館日	園名	人数
5月26日	田園幼稚園	136
11月29日	田園保育ルームぽかぽか	8
3月6日	玉川保育所	36
合計（3回、3園）		180

ウ 大学

来館日	大学名	人数
8月9日	松蔭大学	5
12月4日	湘北短期大学	16
12月13日	神奈川工科大学	11
合計（3大学）		32

エ その他

来館日	団体名	人数
7月26日	あさひ会	16
8月3日	網走市友好都市訪問団	5
8月16日	比々多観光振興会	15
8月22日	放課後等デイサービス マジカルシューズ	16
9月14日	放課後等デイサービス マジカルシューズ	16
9月24日	山北町ボランティア連絡協議 会	13
10月8日	真鶴町文化財審議委員会	9
10月12日	放課後等デイサービス マジカルシューズ	16
11月13日	茅ヶ崎市博物館	2
11月28日	御殿場市教育委員会 (御殿場市文化財審議会 委員)	19
12月4日	真鶴町成人学級	40
12月12日	万象房	15
1月8日	網走市小学生訪問団 (企画政策課)	23
1月28日	厚木南公民館	14
2月28日	愛甲公民館	15
3月9日	相川公民館	13
合計 (13団体15回)		247

(3) 出前展示・講座

あつぎ郷土博物館が収蔵する郷土資料について市民への公開を進めるため、小中学校、公民館、保育所等で出前展示、講座を実施した。

ア 出前講座・展示（小学校）

開催日	学校(対象、内容)	参加人数
9月10日	藤塚中学校1年生 厚木市について	128
10月21日	依知小学校4年生理科すずしくなると	49
1月22日	愛甲小学校3年生 むかしの道具	73
1月23日	上依知小学校3年生 むかしの道具	44
1月24日	荻野小学校3年生 むかしの道具	37
1月29日	第二小学校3年生 むかしの道具	163
2月4日	厚木小学校3年生 むかしの道具	148
2月5日	上荻野小学校3年生 むかしの道具	38
2月7日	相川小学校3年生 むかしの道具	42
2月10日	南毛利小学校3年生 むかしの道具	153
2月18日	戸田小学校3年生 むかしの道具	50
2月26日	三田小学校3年生 むかしの道具	126
	合計（12回、12校）	1051

イ 講師派遣（公民館等）

開催日	内容（場所）	参加人数
10月19日	歴史探訪講座 （厚木北地区文化振興会）	23
10月26日	玉川地区の歴史を学ぼう （玉川公民館）	10
11月16日	玉川地区の歴史を学ぼう （玉川公民館）	15
11月22日	和田傳文学からみたあつぎ （神奈川工科大学）	16
11月29日	農具からみたあつぎ （神奈川工科大学）	16
12月14日	相川地区史跡めぐり教室 （相川公民館）	15
2月21日	渡辺崋山をたずねて （厚木南公民館）	10
	合計（7回）	105

(4) レファレンス業務

地域資料に関する市民の疑問、質問の相談に対し、あつぎ郷土博物館が調査・収集・研究している情報に基づいて回答している。令和6年度の業務件数は以下のとおり。

ア 一般回答 総数140件（うち人文系70、自然系69、その他1）

分野	質問者	相談内容	内容、対応
人文	一般	毛利氏とあつぎの関わりについて	吾妻鏡に基づき回答
	一般	資料の寄贈について	民具等の寄贈受け入れについて問い合わせ。資料を確認し寄贈いただいた。
	一般	浮世絵について	浮世絵に描かれたあつぎについて
	一般	依知の地名の由来、古墳など文化財について、レポート課題で調べている。資料等あったら教えてほしい。	『厚木の地名』及び『厚木の古墳』を紹介した
自然	一般	昆虫標本について	昆虫標本の保存や寄贈先の紹介について
	一般	トンボの調べ方について	引き続き、小学生が取り組むマーキング調査の指導
	一般	スズメバチについて	同定の依頼
	行政	玉川の自然調査について	調査結果の検証と評価
その他	一般	博物館実習の予定	令和7年度の博物館実習の予定について

イ メディア対応 総数10件（掲載9件、放送1件）

種類	取材内容
掲載	タウンニュース 古民家岸邸の端午の節句について
掲載	タウンニュース 地域展 睦合地域中の鷹狩りについて
掲載	タウンニュース 地域展 睦合地域について
掲載	タウンニュース 古民家岸邸の七夕について
掲載	タウンニュース 昔のお金について

種類	取材内容
掲載	神奈川新聞社 厚木宿について
掲載	神奈川新聞社 特別展「ドグウ集まれ！」について
掲載	タウンニュース あつぎ古民家岸邸の障子張替え体験について
放送	厚木伊勢原ケーブルネットワーク(株) 企画展「あかりの道具」について
掲載	神奈川新聞 企画展「あかりの道具」について

(5) 学芸員実習、職場体験学習等

博物館実習

東洋英和女学院大学、北里大学の学生2人を受け入れた。

令和6年7月26日、7月29から31日まで、8月19日から21日及び9月7日の計8日間。9月7日は実習生による展示解説を実施し、6人の参加者があった。

7 刊行物

あつぎ郷土博物館では、展示の内容をより深く理解する手立てとして基本展示図録、特別展示図録などを刊行している。

従来、事業周知を目的とし、月1度の発行としてきた『郷土資料館NEWS』は、『あつぎ郷土博物館NEWS』と改称し、刊行を続けている。

また、事業報告を行ってきた『郷土資料館年報』についても、『あつぎ郷土博物館年報』として同様にネット上で公開している。

(1) 展示会図録等

[あつぎ郷土博物館 基本展示図録]			
『あつぎ郷土博物館 基本展示図録』	2019.01	A4版	1,000部
『あつぎ郷土博物館 基本展示図録』	2019.06	A4版	1,000部(初版2刷)
[あつぎ郷土博物館 特別展示図録]			
『開館記念特別展 みる、しる、たのしむ 浮世絵の世界—歌麿・北斎・広重—』	2019.01	A4版	1,000部
『あつぎの花咲く植物の世界—神奈川県植物誌2018の成果をひもとく—』	2020.01	A4版	1,000部
『優しい旅びと・渡辺崋山—「厚木六勝」と「游相日記」—』	2020.09	A4版	1,000部
『有孔罏付土器と人体装飾文の世界』	2022.07	A4版	1,000部(無償頒布)
『知らなかった蛾の魅力—多様な種の多様な生き様—』	2023.10	新書サイズ	1000部
『ドグウ集まれ!』	2024.10	A4版	1,200部
[あつぎ郷土博物館 郷土学習の副読本]			
『あつぎの友好都市 あばしりの自然』	2022.03	A5版	2,000部
[あつぎ郷土博物館 企画展小冊子]			
『デビュー100年「和田 傳」再発見—今甦るあつぎの明治・大正・昭和を 生きた作家の真実—』	2023.07	A4版	1200部
『山の奥へ・いわし雲』 和田傳著	2023.07	A5版	500部
[あつぎ郷土博物館 企画展小冊子他] (無償頒布)			
『バッターはねる、飛ぶだけじゃないバッタの魅力—』	2022.11	A5版	1,000部 1,000部(増刷)
『相模人形芝居大会第50回記念展 人形とともに—相模人形芝居の50年—』	2023.02	A5版	1,000部
『企画展「火の用心—あつぎの秋葉信仰—」』	2024.01	A5版	1,000部

『あつぎ郷土博物館資料目録 火の用心/火伏信仰資料』			
	2024. 08	B 5 版	500部
『企画展 あかりの道具—火と光、人の文化史』			
	2025. 03	B 5 版	1,000部

(2) 博物館NEWS等

[あつぎ郷土博物館 NEWS号外]			
『あつぎ郷土博物館 NEWS号外』(4～3月号)	2019. 4～6	A 4 版	1,150部
[あつぎ郷土博物館 NEWS]			
『あつぎ郷土博物館 NEWS』(7～3月号)	2020. 7～2021. 3	A 4 版	1,350部
『あつぎ郷土博物館 NEWS』(4～3月号)	2021. 4～2022. 3	A 4 版	1,350部
『あつぎ郷土博物館 NEWS』(4～3月号)	2022. 4～2023. 3	A 4 版	880部
『あつぎ郷土博物館 NEWS』(4～3月号)	2023. 4～2024. 3	A 4 版	880部
『あつぎ郷土博物館 NEWS』(4～3月号)	2024. 4～2025. 3	A 4 版	880部
[(仮称) あつぎ郷土博物館 準備NEWS]			
『 (仮称) あつぎ郷土博物館 準備NEWS 』(1～9号)			
	2018. 4～12	A 4 版	1,350部

【参考】厚木市郷土資料館 刊行物

[郷土資料館 常設展示図録]			
『常設展示図録 あつぎ百科』	1998. 11	B 5 版	1,500部

[郷土資料館 特別展示図録]

『第1回 おおやまの生きもの』	1998. 11	A 5 版	1,500部
『第2回 出開帳』	1999. 11	B 5 版	1,500部
『第3回 化 石』	2000. 7	A 4 変形	1,500部
『第4回 東海道と矢倉沢往還』	2001. 9	A 4 版	1,000部
『第5回 あつぎ地域の草木☆花めぐり』	2002. 12	A 5 版	1,000部
『第6回 農具から農機具へ～流通民具が語るもの～』	2003. 11	A 4 版	1,000部
『第7回 養蚕書と出版文化～養蚕文化はどう伝わったのか～』	2004. 11	A 4 版	1,000部
『第8回 相模川の生きものに親しむ』	2005. 11	A 5 版	1,000部
『第9回 商家と看板』	2007. 2	A 4 版	1,000部
『第11回 本厚木駅と厚木駅～小田急、相鉄、相模線とあつぎ～』	2008. 11	A 4 版	1,000部
『第12回 あつぎのむし』	2009. 11	A 5 版	1,000部
『第13回 ー引札、チラシ、マッチラベル、錦絵、看板ー 広告メディアが語る「商い」と地域の変遷』	2010. 11	A 4 版	1,000部
『第14回 あつぎ あきのむし』	2011. 10	A 5 版	1,000部
『第15回 あつぎ 縁起書の世界ー神さま仏さまのプロフィールー』	2012. 11	A 4 版	1,000部
『第16回 あつぎの野鳥』	2013. 11	A 5 版	500部
『第17回 化 粧』	2014. 11	A 4 版	500部
『第18回 あつぎの草木＊花めぐり』	2015. 11	A 5 版	500部
『第19回 あつぎと酒』	2016. 11	A 4 版	500部

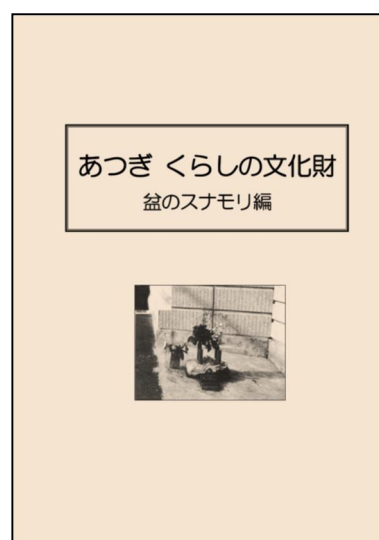
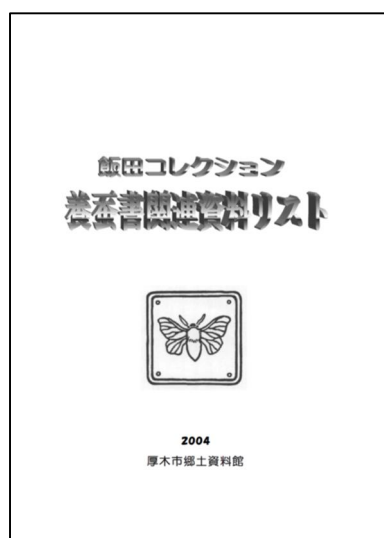
※第6回のみ無償、他は有償頒布。第10回は開館10年記念展。

[郷土資料館開館10年記念特別展図録] (無償頒布)

『郷土資料館開館10年記念特別展 あつぎ文化財まつり』	2007. 11	A 4 版	2,000部
-----------------------------	----------	-------	--------

[厚木市郷土資料館資料]

『飯田コレクション 養蚕書関連資料リスト』	民俗資料調査報告	2005. 3. 31	A 4 版	150部
『飯田コレクション 養蚕書関連資料リスト』	民俗資料調査報告	2006. 3. 31	A 4 版	150部
『飯田コレクション 地域関連資料リスト1』	民俗資料調査報告	2006. 3. 31	A 4 版	200部
『あつぎ くらしの文化財 盆のスナモリ編』	民俗資料調査報告	2006. 11. 30	A 4 版	50部



▲第7回 養蚕書と出版文化の借用資料の調査報告書（2006 年 3 月刊行）

▲会員の調査を一冊の報告書にまとめ、刊行（2006 年 11 月刊）

[郷土資料館 収蔵資料展示図録]

『第1回 厚木の画家 島村亮』	1998. 12	A 4 版	500部
『第7回 町場のくらしと民具』	2000. 2	A 4 版	500部
『第9回 職人の道具』	2000. 6	A 4 版	500部
『第11回 鎧と刀』	2000. 12	A 4 版	500部
『第12回 あつぎの野鳥』	2001. 2	A 4 版	500部
『第13回 活動する青年たち』	2001. 6	A 4 版	500部
『第16回 あつぎの民俗芸能』	2001. 12	A 4 版	500部
『第18回 村の古文書一馬場文書一』	2002. 5	A 4 版	500部
『第19回 あつぎの修験者』	2002. 8	A 4 版	500部
『第20回 厚木の文学者 和田傳』	2003. 2	A 4 版	500部

[郷土資料館 NEWS]

『郷土資料館 NEWS』	(1 号)	1999. 3	A 4 版	500部
『郷土資料館 NEWS』	(2 号～13号)	1999. 4～2000. 3	A 4 版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(14号～25号)	2000. 4～2001. 3	A 4 版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(26号～37号)	2001. 4～2002. 3	A 4 版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(38号～49号)	2002. 4～2003. 3	A 4 版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(50号～61号)	2003. 4～2004. 3	A 4 版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(62号～73号)	2004. 4～2005. 3	A 4 版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(74号～85号)	2005. 4～2006. 3	A 4 版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(86号～97号)	2006. 4～2007. 3	A 4 版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(98号～109号)	2007. 4～2008. 3	A 4 版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(110号～121号)	2008. 4～2009. 3	A 4 版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(122号～133号)	2009. 4～2010. 3	A 4 版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(134号～145号)	2010. 4～2011. 3	A 4 版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(146号～157号)	2011. 4～2012. 3	A 4 版	各600部
『郷土資料館 NEWS』	(158号～169号)	2012. 4～2013. 3	A 4 版	各650部
『郷土資料館 NEWS』	(170号～181号)	2013. 4～2014. 3	A 4 版	各650部
『郷土資料館 NEWS』	(182号～193号)	2014. 4～2015. 3	A 4 版	各650部
『郷土資料館 NEWS』	(194号～205号)	2015. 4～2016. 3	A 4 版	各650部
『郷土資料館 NEWS』	(206号～217号)	2016. 4～2017. 3	A 4 版	各650部
『郷土資料館 NEWS』	(218号～229号)	2017. 4～2018. 3	A 4 版	各660部

なお、郷土資料館開館以前、市立博物館展示準備のための基礎調査報告書については、『厚木市博物館資料』という体裁で、以下のように刊行し、資料目録（購入、収集、寄贈）も同じシリーズにて発刊してきた。資料館開館後の資料の調査、整理等に関する報告等については、『郷土資料館資料』というタイトルで資料館閉館まで刊行を続けた。

[厚木市博物館資料]

『厚木市荻野の動物Ⅰ』	1995. 3
『厚木市荻野の植物Ⅰ』	1995. 3
『谷戸田のムラ』	1995. 3
『鐘ヶ嶽東方の七沢石』	1995. 3
『最勝寺墓石調査報告書』	1996. 3
『厚木市荻野の植物Ⅱ』	1996. 3
『金光山最勝寺墓石調査報告書』	1995. 3
『収蔵資料目録 1 寄贈・購入昆虫標本目録 (1)』	1997. 3
『収蔵資料目録 2 寄贈・寄託維管束植物目録 (1)』	1997. 3
『厚木市相模川の動植物』	1998. 3
『長福寺墓石調査報告書』	1997. 3
『収蔵資料目録 3 脇一郎寄贈蝶類コレクション目録 』	2005. 3

[博物館収蔵資料展図録]

『第1回 博物館収蔵資料展 坂東彦三郎と厚木』	1994. 2
『第2回 博物館収蔵資料展 世界のチョウ・厚木のチョウ』	1994. 11
『第3回 博物館収蔵資料展 幕末－相州厚木－』	1995. 2
『第4回 博物館収蔵資料展 一夏の風物誌－花火』	1995. 7
『第5回 博物館収蔵資料展 厚木の植物－植物に魅せられた人々－』	1996. 2
『第6回 博物館収蔵資料展 広重の富士三十六景－厚木と富士信仰－』	1996. 7
『第7回 博物館収蔵資料展 厚木の里山をあるく』	1997. 3
『第8回 博物館収蔵資料展 旅－村、往還そして街道－』	1997. 12

8 古民家岸邸

厚木市指定有形文化財である旧岸家住宅を展示場として、市民から寄贈された五月人形や雛人形などの展示を行った。

(1) 展示

	タイトル	期 間	入 数
1	古民家岸邸の端午の節句	4月20日～5月12日	296
2	あつぎ古民家岸邸の七夕	6月26日～7月7日	89
3	あつぎ古民家岸邸の十五夜と十三夜	9月14日～9月20日 10月12日～10月18日	61
4	古民家岸邸の雛まつり	2月15日～3月9日	559
合 計 4 回			1005



(2) 講座

	タ イ ト ル	開催日	参加者
1	障子張替え体験	11月30日 午前10時～正午	9

(3) 解説

	開催日	団 体	人数
岸邸の建築	2月28日	愛甲公民館	15
合 計 1 回			15

9 資料の収集・保管・活用（令和7年3月31日現在）

(1) 資料の収集状況

あつぎ郷土博物館は、前身である郷土資料館の頃から、郷土 厚木の歴史、民俗、自然に関する資料を購入、寄贈、寄託、採集などの方法で収集を行ってきた。令和7年3月31日現在、資料調査、整理を進め、資料件数を点数に改めるなどの精査を行った結果、新たに寄贈を受入れた資料953点を加え、合計点数は 190,039点 となった。

収集した資料は、各種展示会等において展示公開を進めている。

ア 入手方法別 資料の収集状況（累計）

	購入資料	寄贈資料	寄託資料	採集資料	その他	合計(点)
人 文	4,733	30,584	1,521	0	285	37,123
自 然	1,511	24,965	1,436	124,956	48	152,916
合 計	6,244	55,549	2,957	124,956	333	190,039

イ 寄贈資料の受け入れ状況（24件、9,419点 寄贈者敬称略）

受入月日	資 料 名	寄 贈 者	数
4月2日 (3月22日)	掛仏（難波孫次郎作）、日展目録	吉成ヨシ子	2
4月4日	相模の古社（書籍）	氏名非公開	1
4月16日	地神講掛軸、「明治九年九月廿七日地神講頼母子連名掛金取立帳」他	荻野地神講中 代表花上 茂安規	23
5月5日	厚木市産アオハダトンボ雄標本	三橋 叶大 三橋 裕子	1
5月11日	手拭い厚木たぬきや（番傘）他	前場義則	19
6月28日	短剣、付書（奉獻刀劔 後藤運乗作 新宿 萩原唯重）他	荻野神社 宮司 飯谷 秀典	60
7月9日	相模人形芝居 林座関連写真他	氏名非公開	7
7月25日	柿の絵（藤江理三郎）	保坂忠子	1
8月15日	フィルム、ラピットフィルム他	服部豊	97
8月31日	福山家古文書	福山なおみ	1
9月19日	睦合村青年団メダル写真他	清田邦男	2
9月19日	熊坂東以 色紙「水仙に鶯」他	保坂忠子	2
9月26日	石塔、掛軸、関係書類	服部家先祖祭 (オケイノサン)	3
10月4日	史徴墨寶（天・地）	横澤秀明	1
10月16日	難波孫次郎作品	細野厚子	3
10月18日	土地宝典、証為箱他	大貫睦美	27

受入月日	資 料 名	寄贈者	数
10 月 21 日	屏風 四季風物図他	沼田一道	2
11 月 21 日	唐竿（クルリンボー）他	椎名直子	4
12 月 6 日	和田傳『日本の村長』	太田麻生	1
12 月 11 日	杉山勇「牡丹」日玖国交 80 周年記念出品作品	柴田美菜子	1
12 月 12 日	山口克忠家文書	山口克家	9157
12 月 26 日	和田傳全集 他書籍一括	笹生真	2
1 月 31 日	土師器	本杉貴生	1
2 月 12 日	ひな人形	小林正徳	1
合 計			9,419

(2) 収集資料の保管状況

あつぎ郷土博物館収蔵資料の多くは、博物館内の4室の収蔵庫に収蔵、保管されている。

その他にも、昭和40年代から収集を進めてきた民具などの民俗資料は、博物館敷地内の郷土資料収蔵庫（＝写真）、三田公共用地内のコンテナ3基に収蔵している。

あつぎ郷土博物館内に設置された収蔵庫は、

常時空調機を使用し、文化庁が推奨する湿度55%±5%、室温は摂氏22度±5度の温湿度を保つように設定している。

美術、人文、自然、液浸、それぞれの資料の内容により標本箱や文書箱を使用する等、専用の保存収蔵庫に収納、保存している。全館燻蒸は令和元年度に行い、令和7年度に再度行う予定である。企画展示室は年1回、燻蒸を行っている。



ア 収蔵施設別 資料の保管状況

	あつぎ郷土博物館 収蔵庫	郷土資料収蔵庫	三田コンテナ	合計（点）
人 文	18,309	17,600	1,214	37,123
自 然	152,916	0	0	152,915
合 計	171,225	17,600	1,214	190,039

イ 収蔵施設面積

	あつぎ郷土博物館 収蔵庫	郷土資料収蔵庫	三田コンテナ	合計（㎡）
面積	497	348	108	953

(3) 資料の館外貸出等

ア 館外貸出 5 件

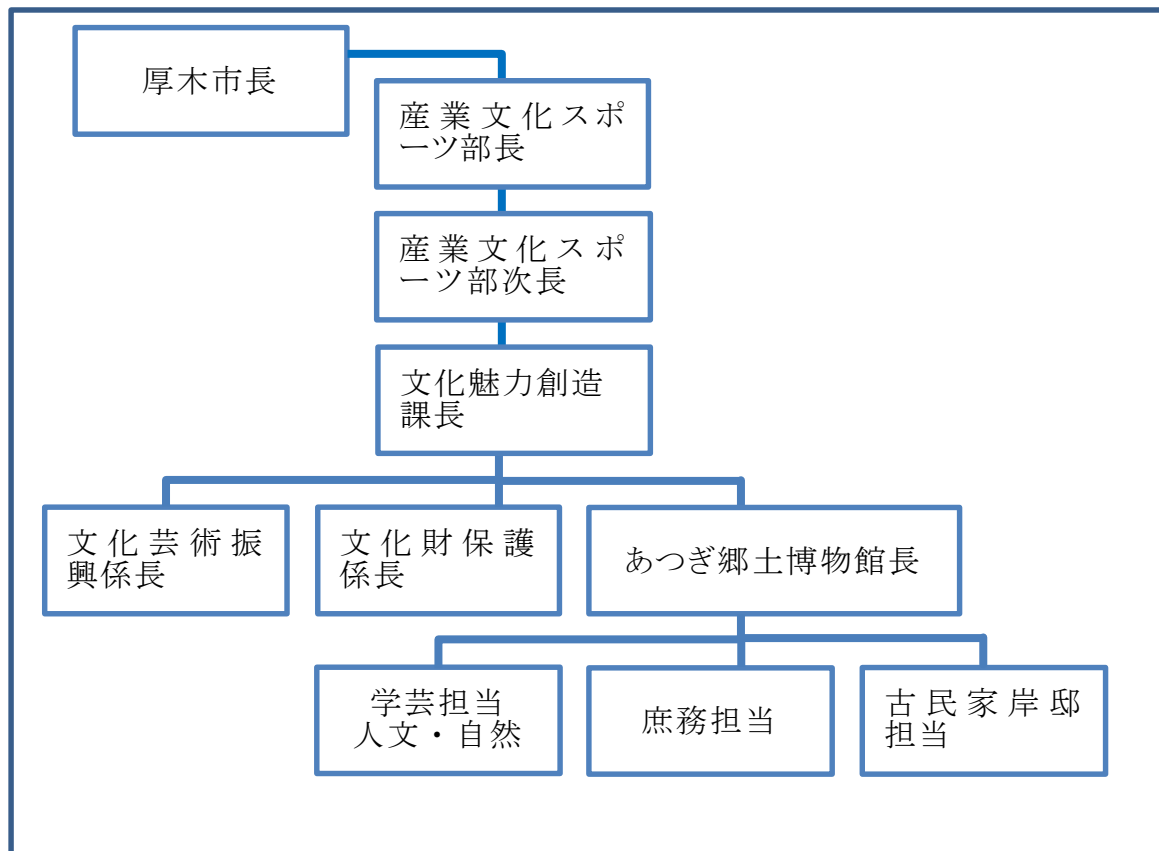
申請日	期 間	資 料 名	貸 出 先	数量
5 月 31 日	6 月 16 日 ~ 6 月 28 日	地神掛軸 他	青葉区郷土史の会	10
7 月 28 日	7 月 31 日 ~ 8 月 10 日	戦争関係資料	福祉総務課	24
7 月 30 日	8 月 20 日 ~ 8 月 31 日	土器片(2)、クルリ棒 (2)、地神掛軸(1)、 古文書(3)	東海大学	8
2 月 3 日	2 月 12 日 ~ 2 月 20 日	土器片(2)、クルリ棒 (2)、地神掛軸(1)、 古文書(3)	東海大学	8
2 月 3 日	2 月 28 日 ~ 3 月 15 日	教科書(10)、戸田の渡し 複製(1)、古文書(3)	相川公民館	14

イ 特別利用 12件

申請日	資料名	利用者	形態
4月27日	星野日記	個人	閲覧 撮影
5月19日	末広五十三次 他	個人	閲覧
6月18日	D V D 「湖底に沈む村」(撮影: 代田高則)	小田原市立町田小学校	借用
9月29日	尼寺原出土遺物(旧飯田孝氏所 蔵)	個人	閲覧 撮影
9月29日	踏み脱穀機 他	個人	借用
9月30日	ベアト写真帖	株式会社クラリス	掲載
11月14日	北条記・北条五代記	厚木市古文書解説会	閲覧
11月18日	片岸遺跡出土遺物(旧飯田孝氏所 蔵)	個人	閲覧 撮影
11月16日	絹本著色徳川家康像	株式会社NONふ れ(テレビ東京)	放送
1月24日	フェリックス・ベアト写真集の 宮ヶ瀬関連の写真	神奈川県森林協会	掲載
2月20日	登山古墳出土の力士埴輪の写真 データ	小鮎地区地域福祉推進 委員会	掲載
2月20日	大山道中栗毛後俊足	個人	閲覧

10 組織及び職員

(1) 組織（令和7年3月31日現在）



(2) 博物館協議会

ア 委員構成（令和7年3月31日現在）（五十音順）

氏 名	所属（分野）	氏 名	所属（分野）
明戸 葉子	厚木市上戸田児童館指導員	松野 勝	あつぎ郷土博物館地域連絡会会員 元青年の家跡地研究会
手塚 真理	秦野市くずはの家自然観察指導員・元市川市立市川自然博物館学芸員	三井 裕樹	東京農業大学農学部生物資源開発学科教授
羽毛田 智幸	（公財）横浜市ふるさ歴史財団課長	望月 一樹	神奈川県立歴史博物館館長
馬場 弘臣	元東海大学教育開発研究センター教授（歴史）	吉崎 健二	公募による選考
広谷 浩子	神奈川県立生命の星・地球博物館学芸員	吉田 文雄	公募による選考

イ 会議の開催

日 時	内 容
6 月 20 日	令和 5 年度あつぎ郷土博物館事業報告、令和 6 年度あつぎ郷土博物館事業計画について
3 月 5 日	令和 6 年度あつぎ郷土博物館事業報告、令和 7 年度あつぎ郷土博物館事業計画及び長期計画について

11 施 設

(1) あつぎ郷土博物館

ア 建設概要

位 置	神奈川県厚木市下川入1366番地 4
敷 地 面 積	10,025㎡
建 物 構 造	鉄筋コンクリート造 地上 2 階建
建物床面積	1,590.10㎡ ・延床面積 1 階 1,092.59㎡、2 階 497.51㎡
開館年月日	平成 31 年 1 月 27 日

イ 展示等面積

基本展示室(1階)	304.15㎡
企画展示室(1階)	85.51㎡
体験学習室(1階)	130.70㎡ (体験学習室 1、2)
専門書庫(1階)	52.70㎡
収蔵庫(1階)	32.29㎡ (化石岩石展示・収蔵室)
展示準備(1階)	90.38㎡ (荷解き場、展示準備室等)
事務・学芸室(1階)	68.22㎡
収蔵庫(2階)	312.25㎡ (人文、美術、自然、液浸)
施設管理室(1、2階)	245.24㎡ (消火ポンベ室、機械室、エレベーター等)
共用部他(1、2階)	268.66㎡ (エントランスホール、トイレ・授乳室他)

(2) 古民家岸邸

位 置	神奈川県厚木市上荻野792番地 2
敷 地 面 積	1,746.25㎡
建物床面積	520.13㎡（主屋 1階 272.25㎡ 2階 140.24㎡ 土蔵1 1階 33.12㎡ 2階 33.12㎡ 土蔵2 1階 20.70㎡ 2階 20.70㎡）
建設年月日	明治24年（1891年）
建物の特徴	岸邸の主屋は、木造2階建て、寄棟造瓦葺。間取りは、一階が土間をもつ六間取りを基本にいくつかの部屋を追加している。二階は、12.5畳の部屋から横一列に3室ならび、その他10畳弱の洋間が造られている。部屋は全部で15室あり、敷地面積は約520坪。 この建物の特徴として次の3点があげられる。 ① 使用されている木材の質が極めて高く、仕上も入念である。 ② 各部の意匠は通り一遍でなく、十分な手間がかけられ、随所に凝った意匠を展開している。 ③ 近世以来の伝統的な農家の間取りである六間取を基本にしながら、本格的な二階座敷を持ち、しかもこの時期には珍しかったであろう瓦葺とするなど、時代の転換期の先端的な様式を併せ持っている。



12 入館者数

(1) 令和 6 年度 あつぎ郷土博物館 月別入館者数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
入館者	2,231	2,323	2,538	2,633	2,746	1,987	2,614	4,172	4,771	3,302	2,363	2,271
開館日	29	29	28	28	30	29	28	29	22	27	27	28
平均	77	81	91	94	92	69	84	144	217	123	88	73
累計	2,231	4,554	7,092	9,725	12,471	14,458	17,072	21,244	26,015	29,317	31,680	33,951

(2) あつぎ郷土博物館 年度別入館者数

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	合計
入館者	11,664	36,586	19,549	19,228	23,115	27,090	33,951	168,912
開館日	63	320	226	282	332	336	334	1,893
平均	185	114	87	68	70	81	102	101

*平成30年度は、博物館建設準備のため4月1日から1月25日まで郷土資料館（寿町）を休館し、1月27日からあつぎ郷土博物館（下川入）として開館した。

入館者数は1月27日から3月31日までの人数。

*令和元年度は、新型コロナウイルス感染対策のため3月4日から3月31日まで休館。

*令和2年度は、新型コロナウイルス感染対策のため4月1日から5月26日まで休館。1月12日から3月21日まで休館。

*令和3年度は、新型コロナウイルス感染対策のため8月7日から9月30日まで休館。

【参考】郷土資料館（あつぎ郷土博物館の前身）利用者数の推移

	10 年度	11 年度	12 年度	13 年度	14 年度	15 年度	16 年度	17 年度	18 年度	19 年度	20 年度
入館者	4,233	8,685	11,887	12,701	9,424	5,268	8,089	8,076	7,212	12,264	15,001
開館日	144	331	328	329	340	340	340	340	349	353	349
平均	29	26	36	39	28	15	24	24	21	35	43

	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	合計
入館者	13,042	12,310	12,895	14,176	13,109	14,289	11,741	8,760	6,338	209,500
開館日	349	351	350	350	350	350	350	359	359	6,711
平均	37	35	37	41	37	41	34	24	18	31

*平成10年度は、11月3日から翌3月31日までの人数。

*平成15年度は、6月15日から9月13日まで耐震工事のため2階展示室を閉鎖。

*平成29年度は、10月1日から、移転準備に伴い2階全フロアを閉鎖。

(3) 令和6年度 古民家岸邸 月別利用者数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
入館者	133	264	92	114	108	118	148	122	111	119	442	240
開館日	20	22	22	21	23	21	22	22	16	20	19	22
平均	7	12	4	5	5	6	7	6	7	6	23	11
累計	133	397	489	603	711	829	977	1,099	1,210	1,329	1,771	2,011

(4) 古民家岸邸 年度別利用者数

	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
入館者	4,229	3,282	5,288	3,506	3,587	3,167
開館日	213	357	357	359	360	359
平均	20	9	15	10	10	9

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
入館者	2,806	2,737	3,834	3,429	3,681	3,242
開館日	359	359	360	359	359	359
平均	8	8	11	10	10	9

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
入館者	2,838	4,463	3,134	3,859	4,253	4,306
開館日	360	252	250	249	252	252
平均	8	18	13	16	17	17

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
入館者	3,589	3,420	2,130	624	1,620	2,676
開館日	252	252	230	161	215	252
平均	14	14	9	4	8	11

	令和5年度	令和6年度	合計
入館者	1,849	2,011	83,121
開館日	248	250	7,602
平均	8	8	11

＊令和元年度は、新型コロナウイルス感染対策のため3月4日から3月31日まで休館。

＊令和2年度は、新型コロナウイルス感染対策のため4月1日から5月26日まで休館。1月12日から3月21日まで休館。

＊令和3年度は、新型コロナウイルス感染対策のため8月7日から9月30日まで休館。

あつぎ郷土博物館年報 7

発行日	令和7年5月31日
編集	あつぎ郷土博物館 〒243-0206 厚木市下川入1366番地4 TEL 046-225-2515
発行	厚木市